

福原 麻由
留学先: チェコ生命科学大学(CZU)
科目名: 情報学
2021年 12月 11日

ロータリー月例報告書 Vol. 3

大学生活が始まって3ヶ月が経とうとしています。現在は引き続きビザの申請結果を待ちながら、地元でオンライン授業を受けています。少しずつ大学の授業に慣れてきたのと同時に、授業が進むにつれて難易度が高くなる分、勉強に費やす時間が増えています。また、今月の中旬からは、いくつかテストがあるため日々の勉強に加え、テスト対策をしています。初めての大学でのテストでは、どのように準備を進めるとよいかを模索しながら授業の復習をしていましたが、最近ではクラスメイトとビデオチャットをしてお互いの情報を共有し合うことで、より重点を抑えたテスト対策ができていると実感しています。全てオンライン授業であることや、実質的に周囲にクラスメイトがいない点においてはライブで対面の交流ができないため、授業で疑問点があるとその場で解決するように心がけています。また、授業時間以外では、積極的にSNSを利用してテストや授業の情報収集をするだけでなく、クラスメイトの間で行っているオンライン勉強会に参加しています。大学に足を運べなくても、お互いにアウトプットができる場があるのは非常に良い環境だと感じています。さらに、まだ会ったことのない学生同士でも困ったことがあるとお互いに助け合えるような風潮があり、大変心強く感じています。また、クラスメイトの多くは海外からの留学生であり多様な国籍であるため、勉強以外の雑談においても刺激を受けています。無事に現地に到着して、同じ学部の仲間とグループワークをしたり、課外活動では他学部の学生との交流をする機会があると思うと、今からワクワクしています。

さて今回の月例報告書では、先日行われた大学の特別プログラム(Study Block)をご紹介します。

このプログラムは通常の授業とは異なり、外部の教授が提供する授業を受けられるプログラムであり、4日間で集中して行われます。コロナ禍のため現地に滞在していない学生が多いためオンラインにて開催されました。講師はドイツにある大学(Niederrhein University of Applied Sciences)の教授であり、科目は情報学部の専門分野であるPrinciples of Computersです。今回の講義では、大きく分けて2つの内容を学びました。

1. Operating System (オペレーティングシステム)
2. Software development process (ソフトウェアの開発プロセス)

講義では、上記のテーマにおける基礎から実践的な知識を学び、実際にクラスメイトとディスカッションをするなどアクティブラーニング形式で行われ非常に楽しい講義でした。

1回3時間の講義では、一通りの学習が終わるとすぐにレビューテストが行われます。テストは選択問題やオープンクエッションなど形式はさまざまですが、Zoom上で学生が5人程度のグループに分けられそれぞれのルームにてグループディスカッションを行いチームで回答を出します。通常行われている授業のほとんどは「講義を聴く」のがメインであり、少数の授業(語学クラスなど)で、意見を交換し合う場がありますが、今回の様なグループワークは初めてでした。学習したことを直ぐに短い時間で復習するのは記憶が定着しやすいだけでなく、メンバーと意見交換をするうえで、なぜそう思うのかという理由を相手に分かりやすく伝える必要があるため、自分がどの程度理解しているかが客観的に分かるのも良い点でした。実際には専門分野である情報学の基本的な知識が不十分であると痛感したので、その点を踏まえた学習をします。また、限られた時間の中で一人ひとりの意見を出し合い、グループとしての答えをまとめるのは非常に難しかったです。今後の大学生活において、多様な人と交流をすることでコミュニケーション能力を伸ばしたいと実感しました。

現段階では、思っているよりも難しい、と感じることはばかりで勉強が追いつかなく日々目の前のことでいっぱいになってしまうことが多いです。しかしながら、新しいことを学ぶことは面白く、この大学で学ぶことができているのを大変嬉しく思います。焦らず今できることをコツコツ積み重ねていきます。

最後に、今年もロータリー財団の皆様より多くのご支援をいただき感謝申し上げます。温かいご声援がいつも励みになっています。引き続き、地区補助金奨学生として充実した留学生活を送れるよう学習いたします。

来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



美瑛町の図書館。皆さま、良いクリスマスをお過ごしください。